

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ
HULFT 事業部

Amazon Redshift の SSL 証明書の有効期限切れによる DataSpider Servista Amazon Redshift アダプタへの影響について

Amazon Web Services 社より 2017 年 9 月 20 日 に Amazon Redshift の SSL 証明書の有効期限が 2017 年 10 月 23 日に切れるため、クライアント側の証明書を更新する必要がある旨の告知がありました。

Amazon Redshift アダプタのグローバルリソースで SSL 接続を有効にされている場合に影響を受けますので、今後必要となる対応につきまして以下にご案内いたします。

－記－

1. 対象製品及びバージョン

- DataSpider Servista Advanced Server Package 3.2 ～ 4.1 SP1
- DataSpider Servista Basic Server Package 3.2 ～ 4.1 SP1
- DataSpider Servista Select 3.2 ～ 4.1 SP1

2. 影響範囲

- Amazon Redshift アダプタ

3. 今後の対応

新しい証明書を Amazon Web Services 社の Web ページよりダウンロードして、DataSpiderServer の Java にインポートされている証明書を更新してください。更新手順は以下の「対応方法」をご参照ください。

4. 対応方法

① 新しい証明書のダウンロード

以下サイトより Amazon Web Services 社が公開する証明書をダウンロードします。

<https://s3.amazonaws.com/redshift-downloads/redshift-ssl-ca-cert.pem>

② DataSpider の停止

DataSpiderServer を停止します。

③ インポートされている証明書の確認

コンソールを起動して以下のコマンドを実行して証明書の一覧を取得し、その中から Amazon Redshift の証明書の別名を確認します。

```
keytool -list -v -keystore "$DATASPIDER_HOME/jre/lib/security/cacerts"
```

④ 証明書の削除

以下コマンドを実行して、Amazon Redshift の証明書を削除します。

```
keytool -delete -alias <別名> -keystore "$DATASPIDER_HOME/jre/lib/  
security/cacerts"
```

⑤ 新しい証明書のインポート

以下コマンドを実行して新しい証明書をインポートします。

```
keytool -importcert -alias <別名> -noprompt -trustcacerts -file <証明書のファイ  
ルパス> -keystore "$DATASPIDER_HOME/jre/lib/security/cacerts"
```

⑥ DataSpider の起動

DataSpiderServer を起動します。

■ 補足

次回以降、有効期限が切れる際には同様の作業が必要となります。

なお、2017 年 09 月 28 日にダウンロードした証明書では有効期限が 2018 年 11 月 02 日に設定されていることを確認しております。

以上

【改訂履歴】

2017 年 10 月 06 日	初版作成